

武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年度末に
おける進捗状況について

武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和5年度末における進捗
状況について、別添資料のとおりお知らせします。

(添付資料)

資料1 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和5年度)【概要】

資料2 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和5年度)

【基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる】

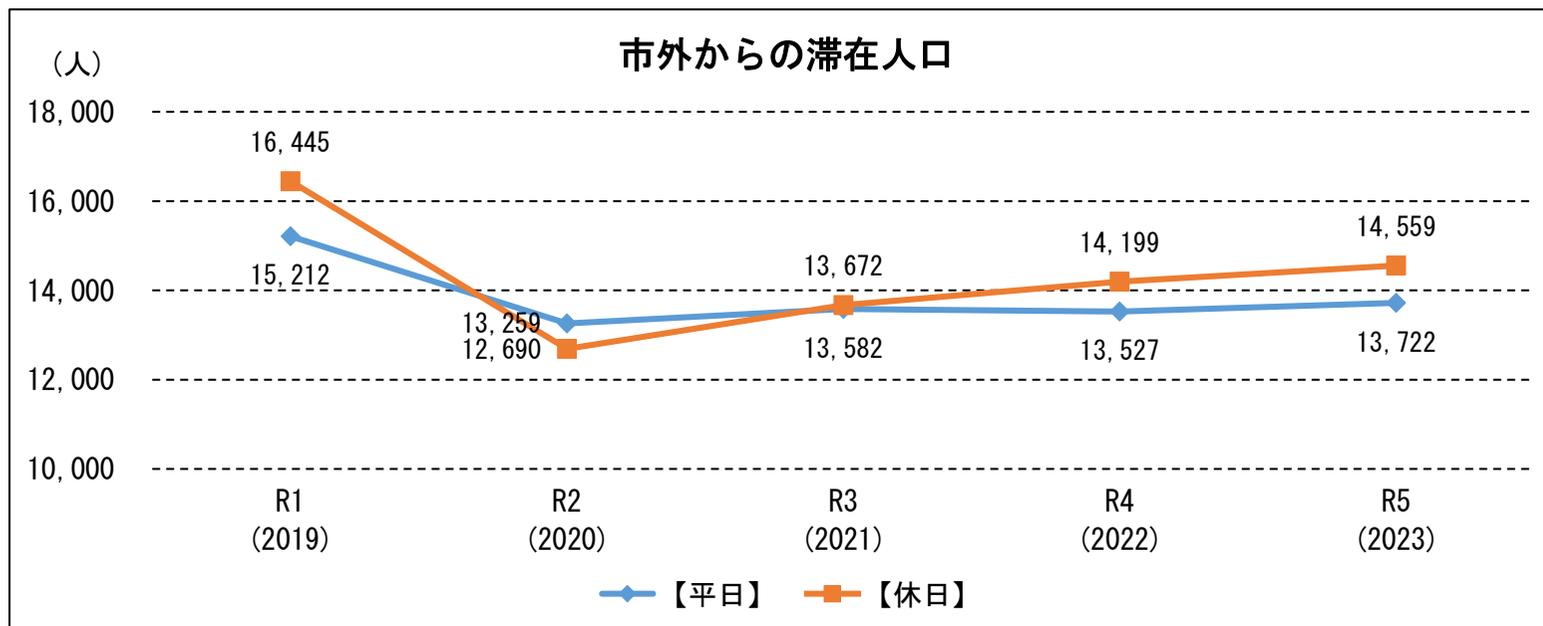
1 数値目標

指標	評価	R5
		現況値
市外からの平日の滞在人口	△	13,722 人
		16,660 人
市外からの休日の滞在人口	△	14,559 人
		16,951 人

【指標の評価について】

- ◎：目標値達成（目標値以上）
- ：現況値超目標値未満
- △：現況値以下
- ：数値が判明していない等

※ 現況値：平成30年度



2 具体的施策（7施策25事業）

施策	評価					計
	重要業績指標 (K P I)	主要要因 (C S F)				
		◎	○	△	—	
戦略的な情報発信	○	0	3	1	0	4
創業を希望している市民への支援	○	0	0	2	0	2
産業の振興と雇用の促進	△	3	0	2	0	5
時代のニーズに対応する農業の創造	○	0	2	2	0	4
個性豊かな観光施策の推進	△	1	3	2	1	7
利便性の高い公共交通網の形成	△	0	1	0	0	1
にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり	◎	1	1	0	0	2
合 計	—	5	10	9	1	25

3 総論

【総括】

- 交流人口の増加の視点から施策を展開している。
- 数値目標に掲げる「滞在人口」については、低迷していた頃からやや持ち直しつつあるが、依然として少ないままである。
- 現況値と比較すると、半数以上の事業が現況値を上回っている。

【施策別】

- 「戦略的な情報発信」については、情報発信方法の工夫等により、現況値を上回った事業が多い。
- 「創業を希望している市民への支援」については、イベント開催回数の減少等により、全ての事業で現況値を下回った。
- 「産業の振興と雇用の促進」については、半数以上の事業が目標値を達成している。
- 「時代のニーズに対応する農業の創造」については、現況値を上回った事業は2事業となった。
- 「個性豊かな観光施策の推進」については、かたくりの湯の一時閉館を受け、K P Iの実績値が現況値を下回った。
- 「利便性の高い公共交通網の形成」については、K P Iの実績値が現況値を下回っているものの、昨年度の実績値を上回っており、回復傾向にある。
- 「にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり」については、全ての事業で現況値を上回っている。

4 外部有識者（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会）からの意見

- 滞在人口について、大型ショッピングモール等の施設にコロナ禍前と比較した回復状況等をヒアリングできるとより良い。
- 広報について、その情報を発信することによって、何を目的とするのかを意識することが一番大事であると思われる。
- 空き店舗活用事業について、対象を拡大し、商店街以外の空き店舗を活用して地域を活性化させられる可能性もあると感じた。
- 地域ブランド認証事業について、他の関係機関と連携して行うことで更に良いものになり、人が集まって商品を購入することにつながるなど、地域活性化につながるのではないかとと思われる。
- 市の特産品を製品にして販売するなど、農業を産業と捉えて行っていく感覚も必要かと思われる。
- かたくりの湯周辺を総合的な観光拠点にできると良い。モノレール延伸のタイミングで、そのような施設ができると一番良いと思われるため、横断的に進め、実現できると良い。
- 市では動きにくい観光施策について、観光まちづくり協会に動いてもらうことで人が集まる形になっていくのではないかとと思われる。
- 新たに就任された観光大使と連携をとって、「人を呼ぶ」という方向に武蔵村山市の魅力を発信してもらうよう強く動いてもらえると良い。
- 新たな観光大使の就任について、市民の声をしっかり考え、実現できる市だというアピールもできると思われるため、活かしていただきたい。
また、今後の活動について、就任式等で市も市民も盛り上がっている状況のため、活動していただく場面を作っていただきたい。
- モノレールが延伸されるまでの10年間の期間に、他市から人を運ぶルートを検討した方が良い。
モノレール延伸前にそのような移動ルートがあると、賑わいが生まれてよいと思われる。

【基本目標 2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える】

1 数値目標

指標	評価	R5
		現況値
合計特殊出生率	△	1.24 (※)
		1.55
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることが できるまちだと思う」人の割合	△	64%
		72.1%

【指標の評価について】

◎：目標値達成（目標値以上）

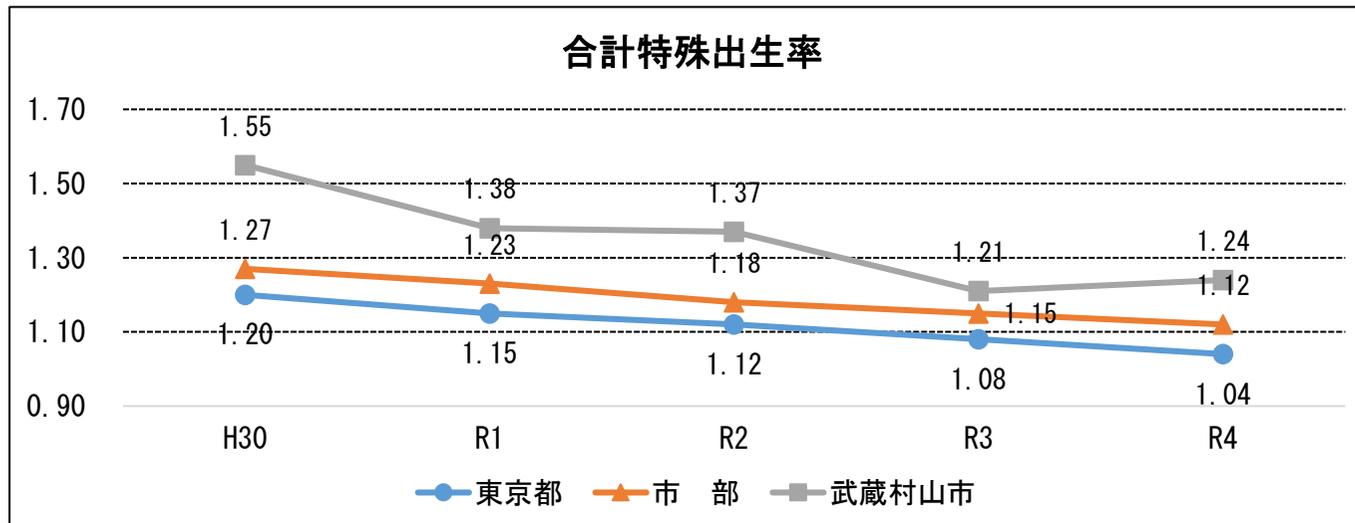
○：現況値超目標値未満

△：現況値以下

—：数値が判明していない等

※ 現況値：平成 30 年度

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。
そのため、実績値は前年の数値である。



2 具体的施策（4施策20事業）

施策	評価					
	重要業績指標 (K P I)	主要要因 (C S F)				
		◎	○	△	—	計
結婚・妊娠・出産・子育てへの支援	◎	5	1	2	0	8
子育てしやすいまちづくり	△	2	1	3	0	6
子どもの知力・体力の向上	◎	0	0	4	0	4
教育環境の整備	△	0	0	2	0	2
合 計	—	7	2	11	0	20

3 総論

【総括】

- 年少人口及び将来的な生産年齢人口の増加を図る視点から施策を展開している。
- 数値目標に掲げる「合計特殊出生率」については、現況値と比較すると減少しているが、49区市で4番目の数値である。(令和4年度実績)
- 数値目標に掲げる「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思ふ」については、現況値を下回っている。
- 現況値と比較すると、おおよそ半数の事業が現況値を下回っている。

【施策別】

- 「結婚・妊娠・出産・子育てへの支援」については、多様な保育サービスを継続し、半数以上の事業が目標値を達成している。
- 「子育てしやすいまちづくり」については、計画策定時のアンケート調査項目であるKPI及びCSFが、現況値を下回った。その他の事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響が尾を引き、約半数の事業が現況値を下回った。
- 「子どもの知力・体力の向上」については、KPIが目標値を達成した。
ただし、その他事業については、全ての事業において現況値を下回った。
- 「教育環境の整備」については、全ての事業において現況値を下回った。

4 外部有識者（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会）からの意見

- 休日保育事業について、実施場所が小規模保育所であることから利用をあきらめている方もいる可能性があるため、3歳以上の子どもも対応可能であるということが市民に周知されていると良い。
- 予防接種情報システムについて、出生者数が減少しているために年間登録者数が減少しているとのことであれば、利用率等を算出して分析した方が良い。
- 健やかひろば事業について、理学コース等、素晴らしい取組であるため、多くの市民に周知できると良い。
- 英語検定について、中学校1年生から段階的に受験することで、中学校3年生になった際に受験しやすいということもあると思われるため、前段階として中学校1、2年生から支援をしていけると良い。
- 補助金に限らず、学校と連携し、子どもが英語に興味をもち、興味を持続できるような取組について、課題として進めていけると良い。
- 子どもの学力、体力及び不登校出現率について、子どもへの支援がもう少し必要ではないかと感じたため、何らかの形で支援を強化してもらえると良い。

【基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる】

1 数値目標

指標	評価	R5
		現況値
これからも本市に住み続けたいと思う人の割合	—	調査未実施
		31.1%
20歳代の転出者割合	△	13.5%
		12.6%

【指標の評価について】

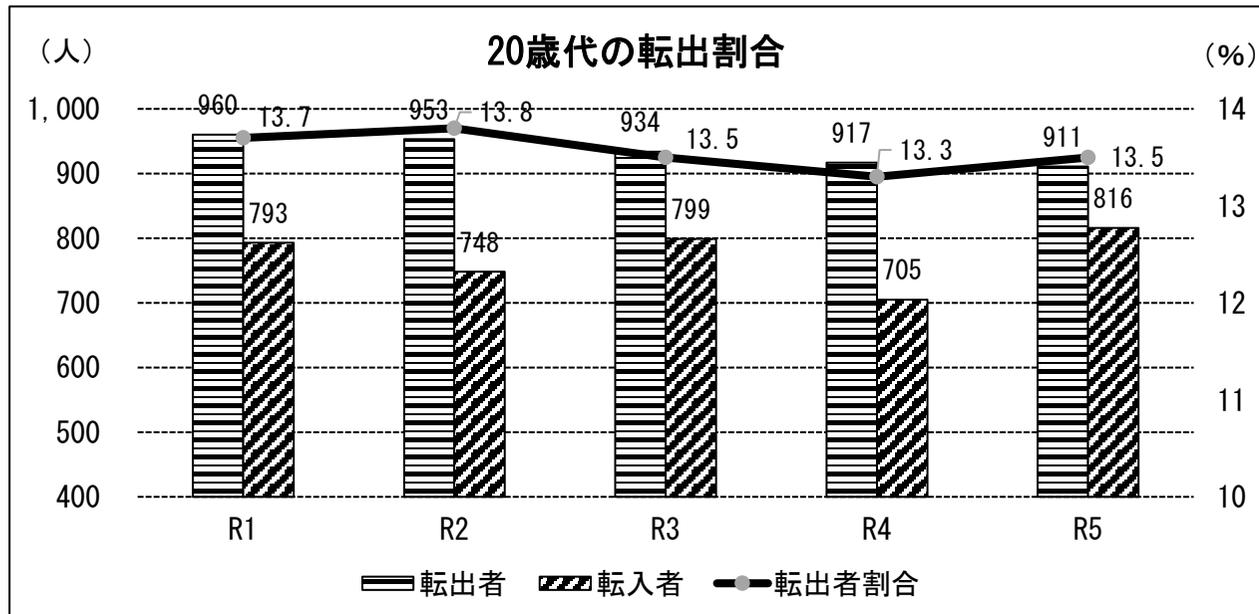
◎：目標値達成（目標値以上）

○：現況値超目標値未満

△：現況値以下

—：数値が判明していない等

※ 現況値：平成30年度



2 具体的施策（3施策14事業）

施策	評価					
	重要業績指標 (K P I)	主要要因 (C S F)				
		◎	○	△	—	計
交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり	—	1	0	1	0	2
安心して暮らせるまちづくり	◎	1	1	0	0	2
健康でいきいきと暮らせるまちづくり	—	3	4	3	0	10
合 計	—	5	5	4	0	14

3 総論

【総括】

- 「住み続けたい」と思うまちづくりを進める視点から施策を展開している。
- 数値目標に掲げる「これからも本市に住み続けたいと思う人の割合」については、計画策定時のアンケート調査項目であり、令和5年度はアンケート調査を実施していない。
- 数値目標に掲げる「20歳代の転出者割合」については、転出者数が減少し、転入者数が増加しているものの、20歳代の人口が減少しており、転出者割合は増加、転出超過の状態が続いている。
- 現況値と比較すると、半数以上の事業が現況値を上回っている。

【施策別】

- 「交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり」については、KPIが計画策定時のアンケート調査項目であり、令和5年度はアンケート調査を実施していないため、数値が不明である。
- 「安心して暮らせるまちづくり」については、防災対策を計画的に行ったため、KPIの目標値を達成するとともに、全ての事業で現況値を上回った。
- 「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」については、KPIが計画策定時のアンケート調査項目であり、令和5年度はアンケート調査を実施していないため、数値が不明である。
なお、半数以上の事業において、現況値を上回っている。

4 外部有識者（まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会）からの意見

- 防災士資格について、消防団の分団長以上の役職経験者は資格を持っていて当たり前のような状態になるよう、資格取得を推進してもらえると良い。
- 健康教室について、場所や時間も工夫してもらおうと、新規参加者が増えていくと思われるため、継続していただきたい。
- お互いさまサロン等、多世代間交流や多様な人が出会える場づくりは、国の施策としても推進されているところであるため、横断的に連携できる取組があると良い。

第二期

まち・ひと・しごと創生総合戦略

実績報告書（令和5年度）

目次

基本目標 1	まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる	1
(1)	戦略的な情報発信	1
(2)	創業を希望している市民への支援	3
(3)	産業の振興と雇用の促進	4
(4)	時代のニーズに対応する農業の創造	7
(5)	個性豊かな観光施策の推進	10
(6)	利便性の高い公共交通網の形成	14
(7)	にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり	15
基本目標 2	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える	16
(1)	結婚・妊娠・出産・子育てへの支援	17
(2)	子育てしやすいまちづくり	21
(3)	子どもの知力・体力の向上	25
(4)	教育環境の整備	27
基本目標 3	誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる	28
(1)	交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり	29
(2)	安心して暮らせるまちづくり	30
(3)	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	32
参考資料		
(1)	第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧	41

【留意事項】

＜指標について＞

K P I : Key Performance Indicator の略称。客観的な重要業績評価指標のことです。

C S F : Critical Success Factor の略称。主要要因と訳され、目標達成に大きく影響する事業のことです。

＜指標の評価について＞

○ 現況値（平成 30 年度実績）と当該年度の実績を比較しています。

○ 評価については、以下の4段階で実施しています。

- ① ◎：目標値達成
- ② ○：現況値超目標値未満
- ③ △：現況値以下
- ④ -：数値が判明していない

＜再掲事業について＞

○ 総合戦略内で【再掲】と記載されている事業については、省略しています。

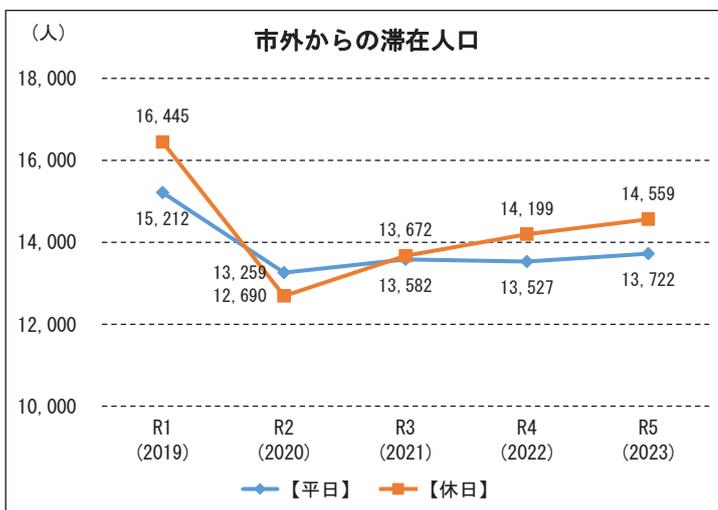
基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

数値目標

指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
市外からの平日の滞在人口	16,660 人	13,722 人	17,493 人	△
市外からの休日の滞在人口	16,951 人	14,559 人	17,799 人	△

※ 14 時時点の平均値

目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)
<p>低迷していた市外からの滞在人口は緩やかに持ち直していきが見込まれるものの、依然として少ないままである。</p> <p>更なる滞在人口増加のためには、市の魅力の発信等、市外に対し市をPRする施策が必要である。</p>
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等
<p>SNSを活用した積極的な市の魅力の発信、デジタルを活用した地域活性化等の実施に努める。</p>



※ 2023 年の数値は 1 月から 6 月までの平均値

具体的施策

(1) 戦略的な情報発信

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	市ホームページアクセス数 (トップページ)	276,230 件/年	305,940 件/年	500,000 件/年	○

施策の概要	「担当課だけでなく全庁で取り組む広報」、「情報を分かりやすく発信する広報」、「必要とする人が見つけやすい広報」という広報戦略の3つの柱に基づき、市の魅力を効果的に周知する。
令和5年度の主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市からの情報発信を迅速に行うため、各関係部署と連携した情報発信の実施 ○ 市報一面のレイアウト変更 (写真を一面に大きく配置) ○ 第二次広報戦略の策定
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)	令和2、3年度については、コロナ禍によってアクセス数が増加したが、昨今のコロナ禍の落ち着きによって、アクセス数は減少傾向にある。継続してより一層分かりやすい情報発信に努める。
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等	令和5年度に策定した第二次広報戦略に基づき、各種取組を推進していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：市ホームページ情報の充実	事業課：秘書広報課
---	-------------------------	------------------

施策の概要	重要な情報発信媒体である市ホームページについて、より一層アクセシビリティに配慮するとともに、トップページから利用者が求める情報にたどり着きやすくなるよう情報を整理し、トップページのカラーセルバナー等で発信する情報を充実させる。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 各課からの要望等に基づき、各種事業やイベントに関するカラーセルバナーを作成
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	引き続き、分かりやすい情報発信を心掛け、カラーセルバナーの更新を行っていく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	カラーセルバナーの活用について庁内周知を行うなどして、積極的に発信を行っていく。 令和7年度に向けてホームページリニューアルの内容を検討していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	カラーセルバナーに掲載するページ数	18 ページ	28 ページ	30 ページ	○

②	事業名：SNS等による広報手段の充実	事業課：秘書広報課
---	---------------------------	------------------

施策の概要	市政情報の効果的な周知を図るため、引き続きソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用し、定期発信の情報ではなく、リアルタイムの情報発信に努める。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ SNSを活用した情報発信 ○ イベント開催時や市報発行時等、なるべく多くの投稿を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	市の投稿数は増えたものの、リツイート（リポスト）数は増えていない。市の投稿数を増やすだけでなく、投稿の内容についても改善していく必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続きイベントのお知らせ等について積極的に発信するよう、各課に意識啓発を行っていく。 また、ハッシュタグや画像を活用するなど、投稿内容についてもより拡散しやすいものにするよう周知する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数	409 回/年	58 件/年	600 回/年	△
CSF	市公式ツイッター「リツイート」数	未実施	654 件/年	1,200 件/年	○
CSF	市公式フェイスブック「いいね！」件数	817 件/年	1,108 件/年	1,200 件/年	○

(2) 創業を希望している市民への支援

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	創業支援制度を利用した創業者数	2人/年	8人/年	21人/年	○

施策の概要	創業支援等事業計画に基づく特定創業支援等事業（創業塾、創業セミナー、創業交流会及び個別相談）を実施し、市内での創業を希望する者の支援を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ むらやま創業塾「ゆめ」：参加者5人（全5回） ○ むらやま創業セミナー「みらい」：参加者延べ2人（全1回） ○ 個別相談：参加者延べ24人 ○ 創業補助金：利用者4人
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	創業セミナーの見直しや創業機運醸成の取組を行っていく必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	創業個別相談の回数を増やすとともに、創業セミナーの見直しを行う。また、新たにローカルスタートアップ支援事業や空き店舗活用補助金を実施する。

<主な事業とCSF>

①	事業名：ウィメンズチャレンジプロジェクト	事業課：協働推進課
---	----------------------	-----------

施策の概要	働きたい女性の自分らしい働き方へのチャレンジについて、総合的に支援を行うことを目的として、セミナー等を開催し、女性の活躍の機運を高める。 また、地域で活躍する女性のネットワークを構築し、企業、地域及び社会への女性の参画を促進する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゆーあいフェスタ：参加者213人（1回開催） <ul style="list-style-type: none"> ・ 運営委員会を立ち上げ、作家自身による企画・運営での開催。 ○ 女性のためのチャレンジ相談会：参加者4人（12回開催） ○ 女性のための起業支援講座：参加者32人（8回開催）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	「ゆーあいフェスタ」の開催回数を1回にしたことから、昨年度と比較してセミナー参加者数が減った。 「女性のための起業支援講座」は、実際に起業した人から話を聞くことで起業に向けた具体的なイメージを構築することができるため、起業支援として有意義な事業であると考えている。 セミナー参加者数を増やすため、情報発信を強化していく必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き、相談会や講座等による起業支援、再就職支援等を行っていく。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	セミナー参加者数	705人/年	249人/年	750人/年	△

②	事業名：空き店舗活性化事業への支援	事業課：産業観光課
---	-------------------	-----------

施策の概要	商店会活動への支援及び地域経済の活性化のため、空き店舗等を活用した事業の推進を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内 ○ 商店会との情報交換会において現状を把握
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	商店会との情報交換会を開催し、空き店舗等を活用した事業内容を検討する必要がある。 また、空き店舗に関する状況や意向の把握を行い、適切な補助制度を案内する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	新たに、空き店舗活用補助金を創設する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	空き店舗を活用した事業数	0事業	0事業	2事業	△

(3) 産業の振興と雇用の促進

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
K P I	企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数	0人	0人	10人	△

施策の概要	地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大などを図るため、企業誘致条例に基づき、市内の工業地域に事業所を新設又は増設した企業等に対し、奨励金を交付する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 東京都企業立地相談センターホームページに奨励金制度を掲載
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	移転希望のある市外事業所への広報の方法を検討する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	企業誘致の対象業種及び対象地域の拡大も含め検討を行う。

<主な事業とCSF>

①	事業名：産業振興ビジョンの策定	事業課：産業観光課
---	-----------------	-----------

施策の概要	市内全体の産業振興や近隣自治体と連携した振興策、市内事業者の市外への流出抑止策等の検討を行った上で、それらを計画的に進めるため、産業振興ビジョンを策定する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 産業振興ビジョンに掲載している各種施策を推進
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	産業振興ビジョンに掲げる将来像「市民と事業者が絆をつむぐ にぎわいのあるまち むさしむらやま」の実現に向け、各種施策を実施していく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	各種施策の実施状況を評価・検証するため、推進委員会を実施する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	産業振興ビジョンの策定	未策定	推進	策定	◎

②	事業名：企業誘致制度の拡充（新青梅街道沿道）	事業課：産業観光課、都市計画課
---	------------------------	-----------------

施策の概要	拡幅整備が進行中の新青梅街道沿道への企業誘致制度の拡充について、対象地域の都市計画を踏まえながら検討を進める。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 対象業種及び対象地域の拡大を、多摩都市モノレール延伸計画の進捗に応じて検討
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	都市計画との整合性を踏まえ、対象地域及び対象業種の拡大範囲を決定する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き、企業誘致の対象業種及び対象地域の拡大に向け、都市計画を踏まえつつ、検討を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	企業誘致制度の対象拡大	検討	検討	検討終了	△

③	事業名：工業地域における道路整備の推進	事業課：産業観光課、都市計画課、道路下水道課
---	----------------------------	-------------------------------

施策の概要	地域経済の活性化と市民の雇用機会の拡大を図るため、伊奈平地区の工業地域の基盤整備を進め、企業誘致の促進を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立地適正化計画を検討する中で、工業地域の土地利用の状況や、人口密度、工場の立地状況などの現況を把握 ○ 東京都企業立地相談センターホームページに奨励金制度を掲載
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	本地区は住工が混在した複合地区であるため、地区内の道路整備に当たっては、武蔵村山市まちづくり条例に基づく地区まちづくり計画や地区計画制度を活用した手法が有効的であるが、いずれも計画案の作成に時間を要する。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	工業地域の現況を踏まえ、今後、地区計画や地区まちづくり協議会によるまちづくり計画等の策定、大型車の通行を考慮した道路基盤整備などについて検討を行う。 また、令和6年度以降も引き続き、工業地域の企業誘致を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	事業の推進	未実施	検討	検討	◎

④	事業名：地域ブランド認証事業	事業課：産業観光課
---	-----------------------	------------------

施策の概要	本市の地域ブランドとして、市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、地域ブランドに誰もがわかりやすいコンセプトを持たせ、より明確なイメージ作りを推進し、本市の活性化と魅力の向上を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制度及び認証商品について、市ホームページや市報等を活用し広報活動を実施 ○ 申請意向のある事業者と調整を実施（令和6年度に2件申請予定）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	認証ブランドになったことによるメリットが少ないため、認証されたことによる優位性等を明確にする必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	新規申請予定が2件あることから、これらの認証を契機として制度のPRをさらに強化していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	ブランド認証商品数	11 品目	9 品目	15 品目	△

⑤	事業名：村山大島紬の振興	事業課：産業観光課
---	--------------	-----------

施策の概要	伝統的工芸産業である村山大島紬の周知に努めるとともに、村山織物協同組合が行う宣伝活動事業や後継者育成への取組について支援を行い、少数化した生産者への直接支援について検討を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付 ○ 市ホームページにて、村山大島紬について周知 ○ 市報 11 月 1 日号にて村山大島紬の特集記事を掲載 ○ 各種イベントへ出展及びPRサイトへ掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多摩東京移管 130 周年記念イベント ・ 伝承のたまてばこ～多摩伝統文化フェスティバル～
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	コロナ禍後のイベント開催等が回復しつつあるので、より効果的な宣伝活動の方法を検討する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付するとともに、市ホームページ等で村山大島紬について周知を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	体験イベントへの参加者数及び見学者数	251 人	560 人	300 人	◎

(4) 時代のニーズに対応する農業の創造

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	新規就農者数の累計	1 人	4 人	6 人	○

施策の概要	農業の新たな担い手を確保するとともに、農業に新規参入する農業者へ様々な支援を行うことにより、安定した農業経営と農業への定着を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新規就農者定着支援事業の実施：2 件 ○ 令和 7 年度新規就農予定者の相談を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	新規就農者が借りる農地を確保する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	東京都農地中間管理機構である東京都農業会議と連携を密にし、新規就農者を受け入れるべく、貸借できる農地について農業委員と連携して確保していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：認定農業者数	事業課：産業観光課
---	-------------------	------------------

施策の概要	農業の中心的な担い手となる認定農業者について、メリットを明確にし、農業委員会や各種関係団体を通して制度の普及を推進することにより、認定農業者の拡充を図るとともに、認定農業者の経営改善計画の達成に向け、農産物の増産や施設整備等に対する支援を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 農業経営改善計画に係る個別相談会：新規認定申請者5件（広域認定申請者3件含む）、更新認定申請者2件 ○ 農業経営改善計画支援センター運営委員会を開催
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	近年、認定農業者自身の高齢化や機械、資材等の必要経費の増大に伴い、更新を断念する認定農業者が増えつつある。今後は、認定農業者に準ずる農業者に対し、制度の周知や理解を求めていく方策を検討することが課題である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き、農業経営改善計画に係る個別相談会の実施や農業経営改善計画支援センター運営委員会の実施、農業経営改善計画の認定を進めていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	認定農業者数	39 経営体	43 経営体	45 経営体	○

②	事業名：観光農園の充実	事業課：産業観光課
---	--------------------	------------------

施策の概要	みかん狩り等を行うことができる観光農園について、広報紙や市ホームページを活用した情報発信を行うとともに、「観光農園からかたくりの湯へ」といった観光案内もあわせて発信することにより、近郊からの来訪者の増加を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ みかん狩りのPRを実施（市ホームページによる情報発信や案内チラシの配布等）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	農園経営者の高齢化により、経営の継続が年々困難となっている。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	農業後継者がいる農業者を中心に、農園開設に向けた交渉の対象者を拡大し、引き続き理解・協力を求めていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	観光農園数	10 か所	10 か所	11 か所	△

③	事業名：体験型市民農園の開設	事業課：産業観光課
----------	-----------------------	------------------

施策の概要	市民が農業にふれあう機会の創出と良好な都市農地の保全を図るため、農作業の未経験な市民でも気軽に農業体験ができるよう、農園主が自ら農作業の指導を行う体験型市民農園の拡充を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 開園検討農業者と相談を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	農園開園時の整備及び運営についての費用負担が大きいため、開園に結びつかない。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和7年度に農園の開園を検討している農業者の費用負担が少しでも軽減されるよう、市の補助金以外に東京都等の補助金を活用できるよう調整する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	体験型市民農園数	2 か所	2 か所	3 か所	△

④	事業名：援農ボランティア制度	事業課：産業観光課
----------	-----------------------	------------------

施策の概要	農作業を通じて市民が農業にふれあう機会を創出するため、また、人手が不足している農業者を支援するため、援農ボランティア制度により農作業の効率化を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 援農ボランティア制度登録：3名 ○ 農業者へ派遣：3名
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	ボランティア登録者の高齢化により、登録を抹消する者もあり、それを補うための新たな派遣が困難となっている。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	現在、市報及びホームページで募集しており、今後は新たな募集方法を検討し、登録者数の増加に取り組む。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	援農ボランティアの登録者数	13 人	19 人	25 人	○

(5) 個性豊かな観光施策の推進

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	158,958人/年	0人/年	203,000人/年	△

施策の概要	温泉資源を活用することにより、市民の健康を維持増進するとともに、多世代間の交流を促進し、併せて観光の振興を図り、もっていきいきとした地域社会の形成に資する。
令和5年度の主な取組内容・実績	○ 令和5年4月1日より一時閉館
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)	老朽化した施設・設備の更新及び収支改善の取組検討を進め、早期に営業を再開する必要がある。
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等	令和7年度の営業再開に向け、設備点検や改修工事の設計及び指定管理者の選定を行っていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	事業課：産業観光課
---	---------------------------------	-----------

施策の概要	村山温泉「かたくりの湯」を核とする狭山丘陵を散策し、温泉につかり、地元産の食材を使った食事を楽しみながら交流を図れるような観光ルートを設定する。
令和5年度の主な取組内容・実績	○ 既存の観光ルートのPR
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)	営業再開の際には、新たな観光ルート等を検討していく必要がある。
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等	令和7年度中にかたくりの湯の営業再開を目指しているため、それに合わせた検討を行う。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	観光ルート(広域含む)の設定	未設定	2ルート	5ルート	○

②	事業名：観光マップの作成	事業課：産業観光課
---	--------------	-----------

施策の概要	当市に訪訪する外国人向けに多言語化した観光マップを作成し、外国人にも当市の魅力を発信する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 既存観光マップの配布（観光マップの作成・多言語化はできなかった。）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和5年度からひまわりガーデンが閉園し、村山温泉「かたくりの湯」が一時閉館となったため、観光施策は変革期となっている。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	かたくりの湯については、令和7年度中の営業再開を目指すため、これに合わせて観光マップを作成することを目標とする。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	観光マップの多言語化	未実施	検討	実施	○

③	事業名：武蔵村山魅力マイスターの活動	事業課：産業観光課
---	--------------------	-----------

施策の概要	観光資源の効果的な周知を図るため、「武蔵村山魅力マイスター」（本市の魅力を伝える技をもつ匠や伝承する力をもつ人）による体験の提供機会を増やし、「武蔵村山魅力教え隊」の活用とあわせて活動の促進を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 武蔵村山観光まちづくり協会へ事務移管
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	新たな「武蔵村山魅力マイスター」の発掘が課題となっている。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	観光まちづくり協会と連携し、登録者数の増加に努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	登録人数	25人	17人	35人	△

④	事業名：ロケーションサービス	事業課：産業観光課
---	----------------	-----------

施策の概要	本市の魅力を広く発信することによって多くの人に訪れてもらうために、「武蔵村山観光まちづくり協会」により、映画等の撮影場所の誘致や撮影支援を行うロケーションサービスを実施する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 公共施設の貸出等が円滑に行えるよう調整を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	実績は増加傾向であるため、引き続き事業支援を行っていく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	「ロケのまち、武蔵村山」ブランドの構築を目指し、引き続き事業支援を行っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	受入件数	未実施	11件	50件	○

⑤	事業名：文化財の観光資源としての活用	事業課：文化振興課
---	--------------------	-----------

施策の概要	歴史のある神社仏閣などの文化財を観光資源として活用するため、引き続き、文化財を巡る歴史の散策コース周知に努めるとともに、市民参加型でのテーマ別のコース設定などの検討を行い、市内への来訪者の増加を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ ガイドマップ『むさしむらやま歴史散策コース』を頒布
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	引き続き、歴史散策コースに係る案内標柱の維持管理を行うと共に、ガイドマップ『むさしむらやま歴史散策コース』の頒布や各種事業を通じて歴史散策コースの周知を図っていく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	ガイドマップ『むさしむらやま歴史散策コース』の頒布や各種事業を活用し、新たなコースを含めた歴史散策コースの周知等により文化財の保護と共に市内来訪者の増加を図っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	市民参加による歴史散策コースの設定	2コース	7コース	4コース	◎

⑥	事業名：市民まつり（村山デエダラまつり）の開催	事業課：産業観光課
---	-------------------------	-----------

施策の概要	市と市民の協働により実施する市民まつりを市と共に主催する武蔵村山市民まつり実行委員会に対し交付金を交付することにより、市民まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武蔵村山市民まつり実行委員会に交付金を交付 ○ 会場開催は未実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	榎一丁目市有地に代わる会場の確保のほか、物価や燃料費の高騰もあり、警備強化を含め、費用面で課題がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和6年度は、開催場所を変更し開催する方向で動いており、会場が狭くなる予定のため、実行委員会と協力し、創意工夫により安心・安全な市民まつりを開催する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	来場者数	70,000人/年	未開催	80,000人/年	—

⑦	事業名：観光納涼花火大会の開催支援	事業課：産業観光課
---	-------------------	-----------

施策の概要	武蔵村山市商工会が開催する観光納涼花火大会に対し観光納涼花火大会交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 補助金を交付 ○ 令和5年8月26日に花火大会を開催
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	物価高騰及び警備強化に伴い経費が増大している。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和6年度は、案内看板の新調及び物価の高騰もあり、補助金を増額する。 また、引き続き事業支援を行っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	会場来場者数	14,000人/年	9,150人/年	15,000人/年	△

(6) 利便性の高い公共交通網の形成

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員	5.61人/年	5.49人/年	6.11人/年	△

施策の概要	公共交通の利便性向上の取組として、路線バスの充実について関係事業者に要請する。 また、まちづくりの整備状況や利用者の声を勘案しながら、関係機関と連携し効率的な運行と利用促進を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 武蔵村山市、東大和市、瑞穂町の2市1町で、「多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸を見据えた公共交通の基本方針」を策定
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	新型コロナウイルスの影響により大きく減少した市内循環バス「MMシャトル」利用者数には、回復傾向が見られるものの、コロナ禍前の約8割程度の回復にとどまっている。 引き続き利用者回復のための対策について、コロナ禍による新たな生活様式等も踏まえ調査検討していく必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	地域公共交通計画の策定業務を進める中で、現況と課題を洗い出し、関係者間で共有・連携し利用促進を図る。 市民まつりへの出店を行うなど、利用促進に繋がるイベントを実施する。

<主な事業とCSF>

①	事業名：多摩都市モノレールの市内延伸の促進	事業課：交通企画・モノレール推進課
---	-----------------------	-------------------

施策の概要	多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けて、東大和市及び瑞穂町と共同で策定した「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえたまちづくりを推進するとともに、市と市民が連携した促進活動や東京都などの関係機関への要望活動を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 要望活動の実施（多摩地域都市モノレール等建設促進協議会） ○ 多摩都市モノレール基金積立及び募金活動 ○ PR推進事業（情報誌の発行、モノレール関連物品作製・販売） ○ シェアサイクル観光連携推進協議会に参加し、シェアサイクルのキャンペーンを実施（ナナタマ、「つなごう」キャンペーン）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	東京都において多摩都市モノレールの延伸に関する都市計画決定や事業認可取得に向けた手続きが進められていることから、本市では引き続きモノレールの利用創出にも各種計画策定及び関係機関との連携強化を推進していく必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き、モノレール早期延伸に向けて要望活動を行っていくとともに、地域公共交通計画の検討過程における市民ニーズ調査により、現況の調査分析を進める。 近隣市と連携し、シェアサイクルを活用した観光連携推進事業を実施する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	事業の推進	推進	推進	推進	○

(7) にぎわいと活力のある魅力的なみち・まちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道 拡幅用地の確保	90%	100%	100%	◎

施策の概要	将来の商業核の形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指して、都市核地区土地区画整理事業を推進しており、事業区域内の多摩都市モノレールの導入区間となる新青梅街道の拡幅用地確保を実施している。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 道路拡幅用地について、除草などの維持管理を実施 ・ 総面積：866㎡ ・ 確保済面積：866㎡（令和3年度に確保済み）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	権利者へ固定資産税及び都市計画税率の上昇や清算金（徴収）について分かりやすく丁寧に説明し、税関係について御理解をいただき、引き続き事業への御協力をお願いしていく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	土地区画整理事業は、多摩都市モノレールの延伸に先駆けて実施している事業のため、早急に事業を完了させることが責務である。このため、物件補償、街道路路工事等の早期完了及び仮換地の指定率の向上を図る。

<主な事業とCSF>

①	事業名：新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の 策定	事業課：都市計画課
---	-----------------------------------	-----------

施策の概要	新青梅街道沿道の特性に応じた計画的な土地利用の誘導を図るため、「新青梅街道沿道地区まちづくり計画」に基づき、拡幅整備の実施と合わせて、新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 多摩都市モノレール延伸計画（箱根ヶ崎方面）の公表を受け、第2ステップとして多摩都市モノレールの延伸後を見据えた沿線及び新駅周辺のまちづくりを進めていくため、(仮称)多摩都市モノレール沿線まちづくり方針の案を作成 (令和3年度末時点で目標値達成済み)
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	第2ステップとして、多摩都市モノレールの延伸後を見据えたまちづくりを進めていく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	多摩都市モノレール延伸後を見据えて、多摩都市モノレール沿線としてのまちづくりを進めていく。 沿線のまちづくりについては、新駅周辺や沿線の将来像を定める(仮称)多摩都市モノレール沿線まちづくり方針を策定し、これに沿ってまちづくりを誘導していく。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数	1件	4件	4件	◎

②	事業名：立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	事業課：都市計画課
---	--------------------------	-----------

施策の概要	三本複交差点の南側約400mの区間は、休日を中心に慢性的な渋滞が生じており、今後、土地区画整理事業の進捗などにより、交通量の増加が見込まれていることから、既存道路を拡幅整備し、交通の円滑化や歩行者等の安全性の向上を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 用地の折衝 ○ 用地の取得及び物件補償の契約 ○ 土地区画整理事業で都市計画道路事業用地として確保した土地について都道の区域を変更するための資料を作成
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	用地取得に時間を要する土地があるため、目標値を達成することが困難な状況である。事業期間も令和7年度末で終了することから、事業期間の延長についても東京都と協議が必要である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和6年度は用地取得を主軸にし、用地取得の際の課題となっている事項について課題解決に向けた施策を実施する。 また、東京都と連携を図りながら、事業延長について必要な調整を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	拡幅整備	推進	推進	工事着工	○

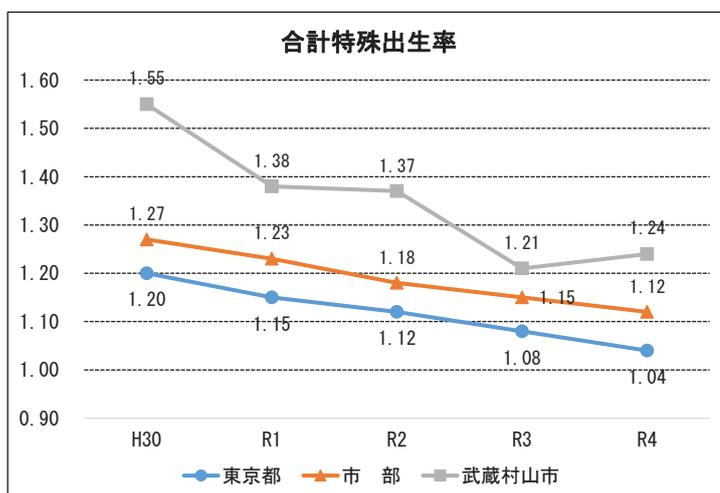
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
合計特殊出生率	1.55	1.24 (※)	1.60	△
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」人の割合	72.1%	64%	80%以上	△

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。そのため、実績値は前年の数値である。

目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)
<p>子育て支援に関するニーズ調査を実施した結果、本指標については現況値を下回る結果となったが、その背景としては新型コロナウイルス感染症の蔓延や物価高騰の影響が大きかったものとする。令和6年度には、武蔵村山市子ども計画を新たに策定することとなり、その計画には今回実施した各種ニーズ調査の意見を取り入れて対応するため、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりに向けて、検討していきたい。</p>
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等
<p>令和5年度に実施した「子育て支援に関するニーズ調査」等の結果から子育て支援に係る現状と課題を整理し、今年度実施する「武蔵村山市子ども計画」の策定業務において方向性を検討する。</p>



具体的施策

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	認可保育所の入所待機児童数	39人	0人	0人	◎

施策の概要	保育所の建て替え・改修時期等に合わせた保育所の定員枠の拡大や保育所定員の弾力的な運用を推進するとともに、保育士資格取得に係る費用の補助や保育士宿舍借上補助など保育士の確保対策を行い、認可保育所の入所待機児童の解消を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所に弾力的な運用による受入れ態勢の確保を要請 ○ 保育士を確保するため、保育士の処遇改善や宿舍借上補助を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	市内保育園では深刻な保育士不足が続いており、新卒、中途採用とも応募がなく、最近では人材派遣会社からの仲介により保育士を採用しているケースが多くなっている。そのため、人材派遣会社の紹介料など保育園の負担が増している。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和4年度に引き続き、令和5年度も待機児童数0人を達成しているため、次年度も同様の取り組みを実施する。また、人材派遣会社の紹介料などで増している保育園の負担の軽減を図るため、今後補助金等を検討していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：地域型保育事業	事業課：子ども青少年課
---	-------------	-------------

施策の概要	少人数の単位での保育事業を可能とする地域型保育事業（3歳未満児を対象とする小規模保育・家庭的保育・事業所内保育及び居宅訪問型保育事業）の活用について、検討を行い、事業実施を目指す。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 小規模保育事業所「大南つぼみ保育園」で事業実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	入所児童が、満3歳となり小規模保育所から卒園した後、同法人の連携施設である育成会ひまわり保育園及びめぐみ保育園へ継続入所できるよう注視していく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	少人数ならではの園児一人一人に向き合った保育ができるため、その利点をアピールしていく。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	実施事業所数	未実施	1か所	1か所	◎

②	事業名：延長保育の充実	事業課：子ども青少年課
---	--------------------	--------------------

施策の概要	保育所において、通常の利用時間以外の時間に保育を実施する延長保育について、充実を図り、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 保育所 11 か所で実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	法人の子育てに対する強い理念（地域、家庭、保育園で育てる）があるため、未実施の保育所に強制ができない。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	現在、延長保育事業を実施している保育園は 11 か所であるものの、延長保育事業をさらに求めるような保護者からの意見はないことから、ある程度、延長保育事業の需要は賚れている様子である。 今後も引き続き利用児童数の動向に注視していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	延長保育の実施保育所数	11 か所	11 か所	13 か所	△

③	事業名：休日保育事業	事業課：子ども青少年課
---	-------------------	--------------------

施策の概要	保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施することにより、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 今まで事業実施をしていたみらい保育園から小規模保育所大南つぼみ保育園へ事業を移行
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	休日保育の需要は少なくないため、いつでも利用できるような環境を法人の協力のもと整えている。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和6年度より実施場所をみらい保育園の榎地区から大南つぼみ保育園の大南地区に移したことで、どのような変化があったかを見極め、事業の充実に努めていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	休日保育の実施保育所数(日曜日・祝日の保育)	未実施	1 か所	1 か所	◎

④	事業名：病児保育事業	事業課：子ども子育て支援課
---	------------	---------------

施策の概要	病中又は病気の回復期にあって保育を受けることが困難な期間にある児童を一時的に預かり、児童の健全な育成及び資質の向上と、保護者の子育てを支援する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 感染症対策を行い、利用形態を維持
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	病児保育事業については、その時期の感染症その他の疾病のり患状況等により、利用対象者が大きく変動するという傾向があり、強力に周知を進めたとしても、必ずしも利用者数の増加につながるわけではないが、最低限の取組として、病児保育に係る周知を実施する。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	保護者の子育て支援を推進するため、幅広い周知及びPRに努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	延べ利用者数	234 件/年	419 件/年	550 件/年	○

⑤	事業名：子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）	事業課：子ども子育て支援課
---	------------------------------	---------------

施策の概要	母子健康手帳交付時に、保健師が全ての妊婦の面接を実施し、妊婦の実情を把握した上で、要支援者に対しては支援プランを作成する。また、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターの運営
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	今後とも妊娠期からの様々なニーズに応えるため、子育て世代包括支援センターの周知に努める。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き、妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターの運営を行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率	100%	100%	100%	◎

⑥	事業名：予防接種情報システムの運用	事業課：健康推進課
---	--------------------------	------------------

施策の概要	乳幼児が安全かつ確実に予防接種を接種できるよう、予防接種スケジュールを自動的に作成し、お知らせする予防接種情報システムを運用する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「子ども・子育て応援ナビ（アプリ）」の周知 ・ チラシ配布（母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問、3～4か月児健診） ・ 初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際にチラシを同封 ・ 保健事業予定表（3月に全戸配布）に掲載
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	導入から複数年が経過し全体の登録者数は増加している。 令和2年度にモバイルからアプリへ変更となり利便性は増したと考えるので、改めて周知方法を子ども子育て支援課と調整を図りながら検討していく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	今後、国において乳幼児の定期予防接種予診票のデジタル化も推進していることから、母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問の際や初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際に案内チラシを同封するほか、転入者にも周知を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	登録者数	316 件/年	271 件/年	350 件/年	△

⑦	事業名：市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	事業課：協働推進課
---	--------------------------------------	------------------

施策の概要	ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所をワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定し、当該認定事業所又はその取組内容を広く紹介することにより、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 武蔵村山市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定：3事業所
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和7年度の目標値に対して令和3年度時点で達成している。 ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定基準として定めた27の取組のうち、15以上実施していた場合に認定しており、今後も一層認定事業所を増やすため、市報や緑が丘ふれあいセンターが発行する情報誌「YOU・I」への掲載、商工会を通じた市内事業所への制度の周知などを行い、もって市内事業所の意識醸成を図る。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和3年度に認定した事業所の認定期間が令和6年度中に満了となるため、事業所が再認定を受けたいと考えるような仕組みの導入などを検討し、更なるワーク・ライフ・バランスの普及促進を図る。 また、新規認定件数の増加に向けて、商工会の協力を得るなどして制度を周知していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	0 件	14 件	5 件	◎

⑧	事業名：市役所男性職員の育児休業取得率の向上	事業課：職員課
---	------------------------	---------

施策の概要	市役所が率先して、ワーク・ライフ・バランス等の取組を推進し、男性職員の育児休業の取得促進を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子の配布・説明 ○ 育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供 ○ 妊娠期・出産期等の段階毎に取得できる休暇等を取りまとめ、「健やかな成長を願って」を改訂
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	目標を達成しているが、更なる取得率の向上に取り組む。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	前年度の取組内容を継続して行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	取得率（5か年平均）	5.5%	46.5%	15.0%	◎

(2) 子育てしやすいまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」就学前児童の保護者の割合	72.8%	71.4%	77.8%	△

施策の概要	結婚から出産、子育てまでの一貫した支援を行い、さらには子育てと仕事の両立を図ることで、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指す。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第二期子ども・子育て事業支援計画掲載事業の推進 ○ 子育て支援に関するニーズ調査の実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	<p>子育て支援に関するニーズ調査を実施した結果、本指標については現況値をわずかに下回る結果となったが、その背景としては新型コロナウイルス感染症の蔓延や物価高騰の影響が大きかったものとする。</p> <p>令和6年度には、武蔵村山市子ども計画を新たに策定することとなり、その計画には今回実施した各種ニーズ調査の意見を取り入れて対応するため、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりに向けて、検討していきたい。</p>
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和5年度に実施した「子育て支援に関するニーズ調査」等の結果から子育て支援に係る現状と課題を整理し、今年度を実施する「武蔵村山市子ども計画」の策定業務において方向性を検討する。

<主な事業とCSF>

①	事業名：移動式赤ちゃんの駅の活用	事業課：子ども子育て支援課
---	-------------------------	----------------------

施策の概要	市内で開催されるイベント等に対し乳幼児のおむつ交換や授乳を行うための簡易設置型授乳室を貸し出すことにより、乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ イベント時の貸出：1件
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和5年度については、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を理由に一部イベント等の抑制が続いていたため、貸出事業実施件数の減となった。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	イベント等実施の回復に合わせ、ホームページ等での周知を図り、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	地域イベント等での活用	5件/年	1件/年	10件/年	△

②	事業名：児童館親子ひろば事業（絵本読み聞かせ・みんなで あそぼう）	事業課：子ども青少年課（児童館）
---	--	-------------------------

施策の概要	児童館の午前中の比較的利用者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら、交流や子育て相談ができる児童館親子ひろば事業を48回実施 ・ 絵本読み聞かせ：26回 ・ みんなであそぼう：22回
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和6年度からは事業を再構築し、健やかひろば事業として各85回/年、健やかひろば事業理学コースを20回/年を3団体が実施していく予定である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	当該事業については「児童館親子ひろば事業」から「健やかひろば事業」へ再構築し、令和6年度から子ども子育て支援課に移管される。また、新たに理学コースを追加する。 今後は、乳幼児及びその保護者が気軽に集い、交流を図る場、安全な遊び場を提供することで、保護者の子育てに対する不安感、負担感を緩和し、児童福祉の向上及び子育て世代の負担軽減を図ることを目的とし、更なる事業の充実を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数	46回/年 1,037人/年	48回/年 945人/年	48回/年 1,200人/年	○

③	事業名：絵本読み聞かせ事業（図書館のおはなしの会）	事業課：図書館
---	----------------------------------	----------------

施策の概要	本に対する興味を育て、本に親しんでもらうとともに、保護者とお子さんが本を通じてコミュニケーションを図るきっかけづくりのため、絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、手遊びなどを行っている。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 絵本の読み聞かせを以下のとおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雷塚図書館：24回 ・ 三ツ木地区図書館：12回 ・ 中久保図書館：12回 ・ 大南地区図書館：24回 ・ 中藤地区図書館：12回 ・ 残堀・伊奈平地区図書館：17回
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	新型コロナウイルス感染症の影響による子を持つ親の人が多く集まる場への抵抗感は徐々に薄まりつつあるが、まだ積極的な参加に至るまでの状況にはなっていないため、今後も安心して参加できるよう感染防止対策や広報活動に努める。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き感染症対策を徹底しながら、安心して参加できるよう環境づくりに努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数	114回/年 1,014人/年	101回/年 615人/年	120回/年 1,200人/年	△

④	事業名：放課後子供教室の充実	事業課：文化振興課
---	-----------------------	------------------

施策の概要	放課後の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の居場所を設け、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 市内全小学校9校において、地域住民等の参加・協力を得て、子供たちの安全で健やかな居場所づくりを推進する事業を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	事業実施に当たり人材不足が生じた際は、学校、市報、ホームページ等を活用して人材の確保に取り組んでいる。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	継続して事業を実施できるよう、人材の確保に努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	放課後子供教室実施校数	7校	9校	9校	◎

⑤	事業名：放課後子ども総合プラン事業の推進	事業課：文化振興課、子ども青少年課（児童館）
---	-----------------------------	-------------------------------

施策の概要	共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、時代を担う人材を育成するため、全就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後子供教室及び学童クラブの計画的な整備を進める。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校6校（6か所）での実施に向けて各学童クラブと調整し、一体型イベントとして体験・活動を実施 ○ 各学童クラブに実施に向けたアンケート調査を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	放課後子供教室及び学童クラブの一体型の運営が可能な小学校全てに設置ができたが、実施に向けての検討が不十分であったことから一体型事業の実施には至らなかったため、引き続き実施に向けて検討を進める。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	各学童クラブに一体型事業の取り組みについてアンケート調査を実施するとともに、事業実施に向けた方向性等を検討する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	一体型の運営を行う学童クラブ及び放課後子供教室の設置数	4か所	6か所	5か所	◎

⑥	事業名：子どもの未来応援プランの策定及び推進	事業課：福祉総務課、子ども子育て支援課、関係各課
---	-------------------------------	---------------------------------

施策の概要	全ての子どもたちとその家庭を見守り支援する「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策等を総合的に推進する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調査に向けた情報収集及び関係各課との調整 ○ ひとり親家庭ニーズ調査実施 ○ 生活実態調査実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象：小学校5年生・中学校2年生及びその保護者、16～17歳の子ども及びその保護者
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	生活実態調査を実施した結果、小学生及び中学生についてはいずれも目標値に達成できておらず、小学生については現況値よりもやや減少している現状にある。 今後については、令和6年度に策定する子どもの未来応援プラン等の計画を包含した「武蔵村山市子ども計画」に基づき、子どもの貧困対策を推進する。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和5年度に実施した「生活実態調査」等の結果から支援を必要とする子どもや家庭に係る現状と課題を整理し、今年度実施する「武蔵村山市子ども計画」の策定業務において方向性を検討する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	将来のゆめが「ある」と回答した児童・生徒の割合	小5：77.1% 中2：57.9%	小5：72.3% 中2：58.1%	小5：80.0% 中2：62.0%	△

(3) 子どもの知力・体力の向上

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	高校進学に際して第一志望校へ合格する割合	83.2%	91.2%	85.0%	◎

施策の概要	児童・生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる基盤となる学習意欲の向上及び学習の規律の確立を図るため、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 小中一貫教育を全小・中学校で実施し、義務教育9年間を通した系統的なキャリア教育の充実
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	年度によって生徒の実態も異なることから、継続的に目標値を達成できるようにすることが課題である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	適宜、進路情報について、学校を通じて高校進学を希望する生徒やその保護者へ提供するとともに、調査の確度向上を図るため、進路指導主任会等において、情報の収集に努める。

<主な事業とCSF>

①	事業名：市学力調査	事業課：教育指導課
---	-----------	-----------

施策の概要	児童・生徒の学力向上を図るために、学力調査を実施し、結果を分析する。 分析した検証結果については、学校における事業改善の具体的手立てへとつなげていく。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 市内小学校第4～5学年及び中学校第1～2学年に対し、国語・算数・数学の学力定着状況調査及び生活・学習意欲調査を実施 ・ 調査人数：(小学校) 国語 1,087人 (実施率 88.8%)、算数 1,087人 (実施率 88.8%) (中学校) 国語 1,109人 (実施率 88.3%)、数学 1,112人 (実施率 88.5%) ・ 平均正答率：(小学校4年) 国語 49.7%、算数 47.0%、(小学校5年) 国語 59.3%、算数 43.4% (中学校1年) 国語 53.8%、数学 51.6%、(中学校2年) 国語 58.7%、数学 42.5%
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	分析結果から、例年児童・生徒が苦手とする分野について把握できており、確実に身に付けるための反復学習が課題である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	学力向上推進委員会、各職層への研修会において、学力向上について具体的な数値と取組を確認する。 また、東京ベーシック・ドリルを活用した取組において、定着に課題が見られた単元を集中的に学習指導、支援をする。夏季休業中や放課後の補修学習を推奨し、学力向上を推進する。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	中学校1年生の国語の平均正答率と全国平均正答率との相対比率	91.6%	86.7%	100%	△

②	事業名：英語検定	事業課：教育指導課
---	----------	-----------

施策の概要	小中学校で培った英語力を測るという具体的な努力目標を持たせ、学習に対する意欲の向上と英語力の定着を図ることを目的に、中学校第3学年の希望生徒を対象として英語検定の受験に係る支援を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 英語検定の費用に掛かる支援：248人
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	英語検定に挑戦する意欲の高まりも一つの成果であると認識している。 令和5年度は、令和4年度と比較し受験率・合格率ともに上昇しており、特に2級・3級では志願者数・合格者数ともに上昇している状況である。本事業の周知を今後も図り、受験率の向上を図る。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	英語検定委託事業を実施し、挑戦する意欲の向上を図る。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	中学校3年生の受験率	40.6%	34.8%	60.0%	△

③	事業名：東京都統一体力テスト	事業課：教育指導課
---	----------------	-----------

施策の概要	児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。また、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 市内全小・中学校で東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査を実施 ・ 調査対象：市内小学校第5学年（男子278人、女子273人） 市内中学校第2学年（男子216人、女子219人） ・ 体力合計点の平均は、全て東京都の平均と同等又は下回る結果であった。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	運動・スポーツの実施時間と体力合計点との関係を見ると、運動実施頻度と同様に、運動時間が多い児童・生徒ほど、体力テストの合計点も高い傾向にあるため、各学校の取組により体育・保健体育授業以外の時間における、運動実施時間を30分長くすることができるかが課題である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	体力テストに向けた取組や各校独自の取組等を交流し、体力向上全体計画に反映させていく。その計画に基づき、体育授業の指導の工夫など、授業改善につなげ、より一層の体力向上に努める。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	小学校5年生のシャトルランの平均値（回数）	男子49.2回 女子36.9回	男子42.3回 女子31.7回	男子51回 女子40回	△
CSF	中学校2年生の持久走(男子1,500m)、(女子1,000m)の平均値（秒数）	男子395.6秒 女子295.6秒	男子433.0秒 女子322.0秒	男子386秒 女子286秒	△

(4) 教育環境の整備

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	不登校児童・生徒への教育相談等支援率	75%	60%	80%	△

施策の概要	教育相談室における相談の実施や全小中学校に配置されているスクールカウンセラーの活用など教育相談体制の充実を図るとともに、市内全小中学校で導入しているコミュニティ・スクールを活用した地域に開かれ、信頼される学校づくりなど教育環境の充実を図る。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカーの活用 ○ スクールカウンセラーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 ※ KPIの数値は、不登校児童・生徒を教育指導課が所管する教育相談等で支援した割合であり、児童相談所、子ども家庭支援センター、医療機関等での支援は除いている。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校児童・生徒について、スクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、地域住民からの情報を有効に活用しながら、当該児童・生徒と保護者への対応を図る。 また、保護司会や民生・児童委員に対して、スクールソーシャルワーカーの役割などについての理解啓発を行い、相互連携の強化を図る機会をつくる。

<主な事業とCSF>

①	事業名：教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業	事業課：教育指導課
---	-----------------------------	-----------

施策の概要	学校だけでは解決しない小・中学生の不登校、暴力・非行行為等の解決を図るため、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等が相談に応じるとともに、社会福祉の面から児童・生徒が置かれた環境へ働き掛けるなど関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールソーシャルワーカーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校の児童・生徒についてスクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、地域住民からの情報を有効に活用しながら、当該児童・生徒と保護者への対応を図る。 また、保護司会や民生・児童委員に対して、スクールソーシャルワーカーの役割などについての理解啓発を行い、相互連携の強化を図る機会をつくる。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 2.56%/年 中学校 8.60%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	△

②	事業名：スクールカウンセラーの設置	事業課：教育指導課
---	-------------------	-----------

施策の概要	いじめ、不登校等の未然防止、改善、解決、学校内の教育相談体制等の充実を図るため、各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、不登校児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラーの活用 ○ 心理相談員と学習支援員による家庭訪問 ○ 小学5年生及び中学1年生を対象としてスクールカウンセラーによる全員面接の実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	<p>不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させること。</p> <p>不登校の生徒数は増加傾向にあり、早期からの相談支援を行う必要がある。</p>
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	<p>不登校や引きこもりの未然防止に向けた支援を行うため、スクールカウンセラーが心理の専門家の立場から、児童・生徒や保護者等からの相談に対応する。</p> <p>第五中学校についてはスクールカウンセラーを2名配置しており、相談率の向上のために相談体制の強化を図っていく。</p>

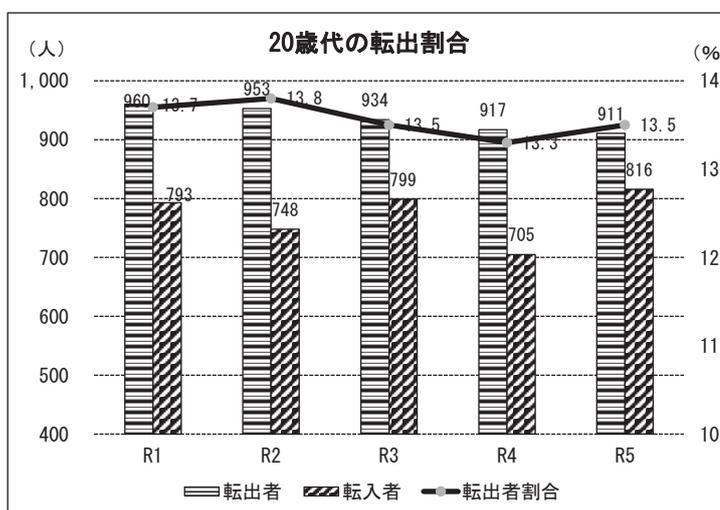
KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 2.56%/年 中学校 8.60%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	△

基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

数値目標

指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
これからも本市に住み続けたいと思う人の割合	31.1%	調査未実施	36.1%	—
20歳代の転出者割合	12.6%	13.5%	11.6%以下	△

目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)
20歳代の転出者割合がやや増加しており、20歳代の人口自体が減少傾向にある。若年層の転出抑制を図るための施策が必要である。
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等
まち・ひと・しごと創生総合戦略等に基づき、若年層を中心とした人口流出を抑えるなど、効果的な施策を推進していく。



具体的施策

(1) 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり

<重要業績評価指標（KPI）>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	公共交通の整備についての満足度	13.4%	調査未実施	18.4%以上	—

施策の概要	市内循環バス「MMシャトル」の運行や乗合タクシー「むらタク」の運行を行う。 また、利便性の向上、効率的な運行のため、公共交通のあり方について検討を行う。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市内循環バス「MMシャトル」及び乗合タクシー「むらタク」の継続的な運行 ○ 乗合タクシー「むらタク」の利用登録者増のための出張受付を実施 ○ 交通事業者と多摩都市モノレール延伸を踏まえた、地域公共交通について意見交換を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	利用者等からの意見を踏まえ、利便性の向上を推進する必要がある。 「MMシャトル」や「むらタク」の運行事業者との意見交換を必要に応じて行い、課題等を共有し連携して、安全で快適な運行を行う必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	地域公共交通計画の検討過程における市民ニーズ調査により、現況の調査分析を進める。

<主な事業とCSF>

①	事業名：乗合タクシー「むらタク」の運行	事業課：交通企画・モノレール推進課
---	---------------------	-------------------

施策の概要	市内循環バス「MMシャトル」の利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、市南西地域を対象とした乗合型の交通システムを導入した。 乗合タクシー「むらタク」は、利用者の自宅と市内の主要公共施設等の間を運行している。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 登録者数や利用者数の拡大のため、事業の周知（モノレール情報誌等で広報、出張受付の実施）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	引き続き、登録者及び利用者拡大を図る必要がある。 利用していない登録者への利用促進を図る必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	地域公共交通計画の検討過程における市民ニーズ調査により、現況の調査分析を進める。登録が少ない世代（60歳未満）への利用促進を図る。特に、子育て世代への利用促進を図る。 市民まつりに出展し、むらタクの新規利用登録、利用促進などを行う。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	利用者数	4,028人/年	12,657人/年	4,500人/年	◎

②	事業名：まいど～宅配事業	事業課：産業観光課
---	--------------	-----------

施策の概要	<p>買い物弱者対策を目的に、商工会が実施する事業に対し、補助を実施している。</p> <p>大型店と差別化を図るため、地域事業者が商品の注文配達、出張サービス時に高齢者の安否等の見守り活動を行っている。</p>
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 市内小規模事業者の育成と地域社会全般の活性化を図るため、商工会に対し補助金を交付
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	事業について市民への周知を進め、利用者数の増加につなげる。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き商工会へ補助金を交付するとともに、事業の周知拡大を進める。 なお、村山団地建替事業による影響にも留意する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	利用者数	2,148人/年	1,457人/年	2,200人/年	△

(2) 安心して暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	停電対策用資器材の避難所への備蓄	未実施	28か所	15か所	◎

施策の概要	<p>停電対策用資器材を計画的に購入し、避難所における停電対策の充実を図っていく。</p>
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 可搬型外部給電器備蓄：1基
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和2年度から令和3年度にかけて折り畳みソーラーパネルから充電可能な可搬型蓄電池を備蓄し、全避難所に対して停電対策用資器材の備蓄が完了、目標値を達成している。今後、更なる停電対策強化のために、停電対策用資器材の更なる充実を図っていく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和3年度に全避難所(28か所)へ可搬型蓄電池の備蓄が完了し目標値(15か所)を達成している状況であるが、令和6年度以降も停電対策用資器材の更なる充実を図っていく。今後は、13の小中学校に加えて風水害時に開設する可能性が高い避難所(中藤地区会館及び総合体育館)に対しても電気自動車を動力源とする可搬型外部給電器を備蓄できるように努めていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：防災士資格取得助成事業	事業課：防災安全課
---	-----------------	-----------

施策の概要	地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織に所属し該団体の長から推薦を受けた者及び消防団において分団長以上の役職経験がある者を対象に防災士資格取得に係る費用を助成する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 防災士の資格取得に係る費用に対し助成：2名
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和2年度より消防団の分団長以上経験者に助成対象を拡大したことにより、資格取得者が増加傾向となっていたが、令和5年度新規取得者は2名となり、資格取得希望者の確保が課題である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和6年度は、現資格者の方々と連携し、武蔵村山市地域防災計画修正時の意見収集や訓練を行っていくことを優先していく。 また、令和7年度以降は、助成対象範囲等の再検討を行い、防災士を養成していきたい。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	防災士資格取得者数	9人	26人	37人	○

②	事業名：風水害に対する防災訓練	事業課：防災安全課
---	-----------------	-----------

施策の概要	台風や短時間豪雨による災害が、各地で頻発していることから、風水害への対応力を強化するため、災害対策本部の運営訓練や地域防災計画、災害時職員行動マニュアルなどの見直しを進める。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 市職員を対象にした図上訓練を実施 ○ 令和3年3月に作成したマニュアルを基に、市職員を対象にした避難所開設訓練を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	訓練を継続して実施すると共に、マニュアル等の見直しを進めていく。 また、訓練内容の充実を図るためには、市民参加型の訓練を計画、実施できるかが課題である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	市民参加型の訓練を1回以上実施し、マニュアルの更なる充実を図っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	訓練の実施	未実施	実施	実施	◎

(3) 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
KPI	市民の1年間での運動・スポーツ実施率	調査未実施	調査未実施	70%	—

施策の概要	地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を総合的かつ計画的に推進する。また、スポーツ推進委員協議会等と連携し、地域における各種スポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民の健康増進や地域の交流、地域スポーツの振興を図る。
令和5年度の主な取組内容・実績	○ 新型コロナウイルス感染症の影響で、多くのスポーツイベントを中断していたが、令和4年度から段階的に再開し、令和5年度はコロナ前に実施していたすべてのイベントを実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)	各スポーツイベントへの参加率を高めるため、内容を充実させるとともにPR活動をより積極的に行う必要がある。
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等	可能な限り市民のスポーツ実施の機会を創出するとともに、環境を整備していく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：健康相談	事業課：健康推進課
---	----------	-----------

施策の概要	健康や栄養に関する相談を随時受け付け、健康管理について指導や助言を行う。 また、骨の状態をチェックし、その結果に基づき生活改善の相談を行う骨健康度相談を実施する。
令和5年度の主な取組内容・実績	○ 保健師等による随時相談：125件 ○ 骨健康度相談の開催：全5回（相談者数：80名） ○ こころの健康相談について、自殺対策庁内連絡会を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、次のステップへの取組や課題など)	相談内容によっては、他課との連携が必要な場合がある。
課題を踏まえた令和6年度以降の主な取組等	こころの健康相談においては、引き続き自殺対策庁内連絡会を実施し、他課と連携を図る体制づくりを行っている。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	参加者数	15人/年	205人/年	120人/年	◎

②	事業名：健康教室	事業課：健康推進課
---	----------	-----------

施策の概要	市民の健康増進と健康管理意識の向上を図ることを目的として、生活習慣病予防等に関する健康教室を開催する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康寿命をのばそう教室：28人 ○ ヨガ体操教室：30人 ○ 肩こり腰痛予防教室：12人 ○ 骨粗しょう症予防教室：38人 ○ ピラティス教室：16人 ○ ウォーキング教室：12人 ○ いきいきリズム体操：13人 ○ 女性のための健康教室：7人 ※全教室（16教室延べ20日開催）のうち1日は金曜日の夜間、2日は土曜の夜間に開催 ※新規に女性向けの教室を開始
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	健康教室参加者が固定化し、新規参加者が少ない。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和5年度に引き続き夜間開催の教室を開催する。 また、今年度から開始する若年健康診査の参加者に事業案内を行うなど、新規及び若年層の参加者を増やすような工夫を検討していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	参加者数	211人/年	156人/年	660人/年	△

③	事業名：ゲートキーパーの養成	事業課：健康推進課
---	----------------	-----------

施策の概要	市の自殺防止対策の一環として、相手の心身の不調のサインに気づき、専門機関による相談等に繋ぐ役割を担うゲートキーパー養成講座を開催する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 職員向けにゲートキーパー養成講座を実施：参加者42人（2回開催）
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	職員の中には、過去にゲートキーパー研修を受講してから期間が経っている場合がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	職員を対象として、初級・応用編の研修を実施する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	ゲートキーパーの養成数	39人/年	42人/年	45人/年	○

④	事業名：総合型地域スポーツクラブの運営支援	事業課：スポーツ振興課
---	-----------------------	-------------

施策の概要	誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、世代を超えて各自の興味・目的に応じて気軽にスポーツを楽しむようなスポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運営支援のための補助金を交付 ○ 活動に対する人的支援を実施 ○ 認知度向上等を目的に、ホームページなどに活動内容や活動状況等の広報活動を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	クラブの認知度向上等を目的としたPR活動を継続して実施していく。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	引き続き人的支援、財政支援を行うとともに、クラブの認知度向上等を目的としたPR活動をより強化する。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	総合型地域スポーツクラブ会員数	290人	172人	390人	△

⑤	事業名：スポーツ少年団の運営支援	事業課：スポーツ振興課
---	------------------	-------------

施策の概要	スポーツ少年団の理念のもと、「子供たちの健全育成」、「一人でも多くの子供たちにスポーツの喜びの提供」を目的に、登録する単位団の増加や団員数の増加を目標として活動していく。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業運営等に関する支援 ○ スポーツ少年団への加入促進を図るため、市内の少年少女のスポーツ各団体へ通知・説明等を実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	行政評価委員会による外部評価で、将来的に縮小・見直しの方向性が示されているため、事業のあり方等について今後検討する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	加入促進を図るため、継続して市内の少年少女のスポーツ団体へ通知、説明等を行う。 また、事業のあり方等について検討していく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	スポーツ少年団登録団体数	1団体	4団体	6団体	○

⑥	事業名：お互いさまサロンの設置・運営支援	事業課：高齢福祉課
---	----------------------	-----------

施策の概要	介護予防や多世代間の交流等を目的としたお互いさまサロンづくりのため、設置・運営を行う団体に対し、財政的な支援を行っている。 また、各地域包括支援センターにおいては、地域住民に対してサロン設置・運営に係る技術的な支援を行っている。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設置・運営を行う団体に対して、補助金を交付：41 団体 ○ お互いさまサロンの継続的な活動を支援するためポイント付与による交付金制度を実施：53 団体 ○ サロン立ち上げの支援や活動内容のアドバイスなど地域包括支援センターとお互いさまサロンの連携 ○ サロンの担い手の育成を図るため、「お互いさまリーダー養成講座」を年2回実施
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	令和5年度末時点の実績から、本事業は概ね順調に進行しているものとする。 今後も引き続き、適切に本業務の進行管理に努め、目標の達成のために取り組む。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	お互いさまサロン数の目標値である70か所には到達しなかったものの、サロンの設置数は増加傾向にあるため、地域包括支援センターと連携し、設置及び運営に関する助言並びに各補助金の周知に取り組む。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	お互いさまサロンの設置数	10 か所	66 か所	70 か所	○

⑦	事業名：シルバー人材センターの運営支援	事業課：福祉総務課
---	---------------------	-----------

施策の概要	定年退職後の高齢者の多様なニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的、短期的かつ軽易な就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的として活動しているシルバー人材センター事業の円滑な実施を図るため、人件費及び運営費等の一部補助や運営資金の貸付を行うもの。
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ シルバー人材センターに補助金を交付 ○ シルバー人材センターの自立的な運営を促すことを目的とし、補助要綱の改正（補助対象経費を人件費のみとする。）及び運営資金の貸付制度を廃止
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	毎年一定程度の入会者数があるものの、会員の高齢化が進み、体調不良（病気）や高齢等を理由とする退会が入会者数を上回っているのが現状としてある。しかし、会員の就業率については微増している傾向があり、シルバー人材センター事務局の就業機会の確保に向けた取組みによるものであると考えている。 また、定年後再雇用が社会的に浸透し、シルバー人材センターの入会率の低下にも影響しているのが現状としてあり、入会者数減少の一因であると考えている。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	説明会の開催等、引き続き会員の確保に努めていくとともに、研修会により会員の技能習得・向上に努め、講習会等により高齢者でも作業しやすく安全に就業できることをPRしていく。

KPI-CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	登録会員数	1,092 人	987 人	1,170 人	△

⑧	事業名：高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施	事業課：保険年金課、高齢福祉課、健康推進課
---	-----------------------------------	------------------------------

施策の概要	<p>高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。</p>
令和5年度の 主な取組内容・実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 糖尿病性腎症等重症化予防事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病性腎症等の高齢者に対する保健指導：保健指導参加者 14 名 ・ 健診結果に異常があるが医療機関未受診の高齢者に対する受診勧奨：医療機関受診勧奨完了者 2 名 ・ 糖尿病性腎症等治療中断者に対する受診勧奨通知：医療機関受診勧奨完了者 2 名 ・ 令和 4 年度に保健指導を実施した者に対する継続支援：保健指導参加者 16 名 ・ 国民健康保険制度における保健指導参加者に対する継続支援：保健指導参加者 3 名 ○ 口腔機能向上・低栄養防止事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「歯つらつ教室」を 8 か所の通いの場で実施：参加者延べ 322 人 ・ 利用者への口腔機能の自己評価表にて、「オーラルフレイルの危険性が高い」と判定された者の割合が、事前評価時の 57%から事後評価時の 49%へと改善 ・ 利用者への事業終了後のアンケートにて、利用者の 54.2%が事業終了後に口腔ケアに関することを自宅で行っており、利用者の 71.0%が今後も通いの場においてに口腔ケアに関することを行いたいと回答
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	<p>糖尿病性腎症等重症化予防事業について、本市の日常生活圏域全 4 圏域から参加者を募り、圏域・年齢・性別等偏ることなく参加者を確保することができたが、参加率が令和 4 年度と比較して低かったため、今後、参加者を確保する工夫を実施していきたい。</p> <p>また、今後も対象者が参加しやすいよう、分かりやすい通知や安心して参加できる勧奨方法を検討していく。</p> <p>口腔機能向上・低栄養防止事業について、従事する職員体制の確保及び利用者への測定結果の効果的なフィードバック方法の検討が必要である。</p> <p>また、通いの場に参加していない高齢者へのアプローチを行うため、通いの場以外での実施についても検討する。</p>
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	<p>糖尿病性腎症等重症化予防事業について、参加者を確保するため、参加勧奨架電時のトークスクリプトや案内のチラシを参加したくなるような内容となるよう検討していく。また、委託業者と連携を図り、一人一人に寄り添ったきめ細かな保健指導を実施し、高齢者の健康寿命の延伸を図る。</p> <p>口腔機能向上・低栄養防止事業について、日常圏域ごとに 4 か所、計 16 か所に通いの場を拡大することに伴い、事業の委託を行うことで、職員体制の確保及び継続的な事業運営の担保を図る。</p>

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
CSF	事業の実施	未実施	実施	実施	◎

⑨	事業名：地域生活支援拠点等整備事業	事業課：障害福祉課
---	--------------------------	------------------

施策の概要	障害者の重度化・高齢化や親なき後を見据えた、居住支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 令和5年10月1日に社会福祉法人あすはの会と協定を締結し、以下の居住支援のための機能を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時の受け入れ・対応 ・ 体験の機会・場
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	5つの居住支援のための機能のうち、未整備である「相談」、「専門的人材の確保・養成」、「地域の体制づくり」について、市内の各事業所で分担（面的整備）するため、事業所の協力が必要である。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	未整備である居住支援のための機能の整備に向け、関係機関と調整を進めていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	実施	実施	○

⑩	事業名：相談支援機能強化事業	事業課：障害福祉課
---	-----------------------	------------------

施策の概要	障害者地域自立生活支援センターや精神障害者地域活動支援センターなどの相談支援機関への専門的職員（社会福祉士、精神保健福祉士など）を配置し、地域における相談支援事業を適正かつ円滑に実施する。 また、自立支援協議会の地域相談支援部会において定期的に会議を開催し、関係機関との連携を推進する。
令和5年度の 主な取組内容・実績	○ 相談支援機関へ専門的職員を配置し、相談等の対応を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者地域自立生活支援センター：社会福祉士2人 ・ 精神障害者地域活動支援センター：精神保健福祉士5人、社会福祉士2人 ○ 自立支援協議会の地域相談支援部会を12回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の相談支援機関等と情報共有を図った。
目標達成への課題 (目標を達成している場合は、 次のステップへの取組や課題など)	社会福祉士、保健師、精神保健福祉士などの専門的職員が必要であり、人員を確保する必要がある。
課題を踏まえた 令和6年度以降の 主な取組等	令和6年度に設置する基幹相談支援センターと総合的・専門的な相談支援の実施に向けて協議を行っていく。

KPI・CSF	指標	H30(現況値)	R5	R7(目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	実施	実施	◎

参 考 资 料

第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF							総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)		
基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れ をつくる		市外からの平日の滞在人口	数値 目標	16,660人	13,259人	13,582人	13,504人	13,722人		17,493人	66	1
		市外からの休日の滞在人口		16,951人	12,690人	13,672人	14,084人	14,559人		17,799人	66	1
(1) 戦略的な情報発信		市ホームページアクセス数(トップページ)	KPI	276,230件/年	664,850件/年	779,985件/年	478,999件/年	305,940件/年		500,000件/年	68	2
	①	市ホームページ情報の充実	CSF	18ページ	30ページ	37ページ	26ページ	28ページ		30ページ	68	3
	②	「#MM数え隊」市以外からのSNS発信数		409回/年	346回/年	149回/年	56回/年	58件/年		600回/年	68	4
	③	SNS等による広報手段の充実		未実施	629回/年	2,832回/年	970回/年	654件/年		1,200件/年	68	4
市公式フェイスブック「いいね！」件数		817件/年		941回/年	960回/年	1,013回/年	1,108件/年		1,200件/年	68	4	
(2) 創業を希望している市民への支援		創業支援制度を利用した創業者数	KPI	2人/年	3人/年	5人/年	12人/年	8人/年		21人/年	69	5
	①	ウィメンズチャレンジプロジェクト	CSF	705人/年	84人/年	346人/年	752人/年	249人/年		750人/年	69	6
	②	空き店舗活性化事業への支援		0事業	0事業	0事業	0事業	0事業		2事業	69	7
(3) 産業の振興と雇用の促進		企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業誘致数	KPI	0人	4人	0人	0人	0人		10人	70	8
	①	(仮称)産業振興ビジョンの策定	CSF	未策定	アンケート調査	策定	推進	推進		策定	71	9
		(仮称)産業振興ビジョンの策定										
	②	企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道)		検討	検討	検討	検討	検討		検討終了	71	10
	③	工業地域における道路整備の推進		未実施	未実施	検討	検討	検討		検討	71	11
	④	地域ブランド認証事業		11品目	10品目	10品目	10品目	9品目		15品目	71	12
⑤	村山大島線の振興	251人		92人	32人	413人	560人		300人	71	13	

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF							総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)		
(4) 時代のニーズに対応する農業の創造		新規就農者数の累計	KPI	1人	3人	3人	4人	4人		6人	72	14
	①	認定農業者数	CSF	39経営体	40経営体	40経営体	38経営体	43経営体		45経営体	72	15
	②	観光農園の充実		10か所	10か所	10か所	10か所	10か所		11か所	72	16
	③	体験型市民農園の開設		2か所	2か所	2か所	2か所	2か所		3か所	72	17
	④	援農ボランティア制度		13人	17人	14人	16人	19人		25人	73	18
(5) 個性豊かな観光施策の推進		村山温泉「かたくりの湯」の入湯者数 ※	KPI	158,958人/年	68,139人/年	90,621人/年	147,648人/年	0人/年		203,000人/年	74	19
	①	村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	CSF	未設定	2ルート	2ルート	2ルート	2ルート		5ルート	75	20
	②	観光マップの作成		未実施	検討	検討	検討	検討		実施	75	21
	③	武蔵村山魅力マスターの活動		25人	25人	17人	17人	17人		35人	75	22
	④	ロケーションサービス		未実施	6件	11件	17件	11件		50件	75	23
	⑤	文化財の観光資源としての活用		2コース	7コース	7コース	7コース	7コース		4コース	75	24
	⑥	市民まつり(村山テグらまつり)の開催		70,000人/年	未開催	未開催	37,525人/年	未開催		80,000人/年	75	25
⑦	観光納涼花火大会の開催支援	14,000人/年		未開催	未開催	未開催	9,150人/年		15,000人/年	75	26	
(6) 利便性の高い公共交通網の形成		市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員	KPI	5,61人/年	3,45人/年	3,97人/年	5,35人/年	5,49人/年		6,11人/年	76	27
	①	多摩都市モノレールの市内延伸の促進	CSF	推進	推進	推進	推進	推進		推進	76	28
(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり		都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保	KPI	90%	97%	100%	100%	100%		100%	77	29
	①	新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定	CSF	1件	2件	4件	4件	4件		4件	77	30
	②	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	CSF	推進	推進	推進	推進	推進		工事着工	77	31

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF							総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)		
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をか なせる		合計特殊出生率	数値 目標	1.55	1.37	1.21	1.24	1.24 (R4実績)		1.60	81	16
		「富原村山は安心して子どもを産み育てることができるまちだ」と思う人の割合		72.1%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	64%		80%以上	81	16
(1) 結婚・妊娠・出産・子育て への支援		認可保育所の入所待機児童数	KPI	39人	37人	18人	0人	0人		0人	83	17
	①	地域型保育事業	CSF	未実施	検討	準備中	1か所	1か所		1か所	84	17
	②	延長保育の充実		11か所	11か所	11か所	11か所	11か所		13か所	84	18
	③	休日保育事業		未実施	1か所	1か所	1か所	1か所		1か所	84	18
	④	病児・病後児保育事業		234件/年	88件/年	311件/年	296件/年	419件/年		550件/年	84	19
	⑤	子育て世代包括支援センター（ハブはく・むらやま）		100%	100%	100%	100%	100%		100%	84	19
	⑥	予防接種情報システムの活用		316件/年	330件/年	275件/年	301件/年	271件/年		350件/年	84	20
	⑦	市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進		0件	0件	7件	11件	14件		5件	84	20
⑧	市役所男性職員の育児休業取得率の向上	5.5%		20.5%	36.6%	41.5%	46.5%		15.0%	84	21	
(2) 子育てしやすいまちづくり		「富原村山は安心して子どもを産み育てることができるまちだ」と思う人の割合	KPI	72.8%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	71.4%		77.8%	85	21
	①	移動式赤ちゃんの駅の活用	CSF	5件/年	1件/年	1件/年	2件/年	1件/年		10件/年	86	22
	②	児童館親子ひろば事業（絵本読み聞かせ・みんなであそぼう）		46回/年 1,037人/年	46回/年 1,078人/年	48回/年 1,002人/年	48回/年 1,123人/年	48回/年 945人/年		48回/年 1,200人/年	86	22
	③	絵本読み聞かせ事業（図書館のおはなしの会）		114回/年 1,014人/年	48回/年 163人/年	25回/年 120人/年	99回/年 478人/年	101回/年 615人/年		120回/年 1,200人/年	86	23
	④	放課後子供教室の充実		7校	7校	7校	9校	9校		9校	86	23
	⑤	放課後子ども総合プラン事業の推進		4か所	5か所	5か所	6か所	6か所		5か所	86	24
	⑥	子どもの未来応援プランの策定及び推進		小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	小5：72.3% 中2：58.1%		小5：80.0% 中2：62.0%	86	24

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF							総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)		
(3) 子どもの知力・体力の向上		高校進学に際して第一志望校へ合格する割合	KPI	83.2%	88.6%	92.2%	86.6%	91.2%		85.0%	87	25
	①	市学力調査	CSF	91.6%	未実施	92.9%	調査未実施	86.7%		100.0%	87	25
	②	英語検定		40.6%	39.2%	37.9%	31.3%	34.8%		60.0%	87	26
③	東京都統一体力テスト	小学校5年生のシャトルランの平均値（回数） 男子49.2回 女子36.9回		調査一部未実施	男子38.7回 女子31.5回	男子42.4回 女子32.6回	男子42.3回 女子31.7回		男子51回 女子40回	87	26	
(4) 教育環境の整備		不登校児童・生徒への教育相談等支援率	KPI	75%	67.1%	48.9%	51.6%	60.0%		80%	88	27
	①	教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業	CSF	小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年	小学校1.15%/年 中学校6.27%/年	小学校1.95%/年 中学校6.50%/年	小学校：2.56%/年 中学校：8.60%/年		小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	27
②	スクールカウンセラーの配置	小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年		小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年	小学校1.15%/年 中学校6.27%/年	小学校1.95%/年 中学校6.50%/年	小学校：2.56%/年 中学校：8.60%/年		小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	28	
基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる		これからも本市に住み続けたいと思う人の割合	数値 目標	31.1%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施		36.1%	91	28
		20歳代の転出者割合		12.6%	13.8%	13.5%	13.3%	13.5%		11.6%以下	91	28
(1) 交通利便性や良い環境の向上 に向けたまちづくり		公共交通の整備についての満足度	KPI	13.4%	調査未実施	調査未実施	調査未実施	調査未実施		18.4%以上	92	29
	①	集合タクシー「むらたけ」の運行	CSF	4,028人/年	2,979人/年	3,774人/年	11,156人/年	12,657人/年		4,500人/年	92	29
②	まいど〜宅配事業	2,148人/年		2,001人/年	1,951人/年	2,115人/年	1,457人/年		2,200人/年	92	30	
(2) 安心して暮らせるまちづくり		停電対策用資器材の避難所への備蓄	KPI	未実施	15か所	28か所	28か所	28か所		15か所	93	30
	①	防災士資格取得助成事業	CSF	9人	13人	14人	24人	26人		37人	94	31
②	風水害に対する防災訓練	未実施		実施	実施	実施	実施		実施	94	31	
(3) 健康でいきいきと暮らせる まちづくり		市民の1年間での運動・スポーツ実施率	KPI	集計調査未実施	61.9%	調査未実施	調査未実施	調査未実施		70%	95	32
	①	健康相談	CSF	15人/年	209人/年	229人/年	250人/年	205人/年		120人/年	96	32

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF							総合戦略 ページ	本編ページ	
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標値)			
②	健康教室	参加者数	CSF	211人/年	97人/年	108人/年	151人/年	156人/年		660人/年	96	33	
	③	ゲートキーパーの養成		ゲートキーパーの養成数	39人/年	18人/年	16人/年	16人/年	42人/年		45人/年	96	33
	④	総合型地域スポーツクラブの運営支援		総合型地域スポーツクラブ会員数	290人	143人	122人	171人	172人		390人	96	34
	⑤	スポーツ少年団の運営支援		スポーツ少年団登録団体数	1団体	2団体	2団体	4団体	4団体		6団体	96	34
	⑥	お互いさまサロンの設置・運営支援		お互いさまサロンの設置数	10か所	56か所	60か所	62か所	66か所		70か所	96	35
	⑦	シルバー人材センターの運営支援		登録会員数	1,092人	1,083人	1,079人	1,025人	987人		1,170人	96	35
	⑧	高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施		事業の実施	未実施	検討	検討	実施	実施		実施	96	36
	⑨	地域生活支援拠点等整備事業		事業の実施	未実施	検討	検討	検討	実施		実施	96	37
⑩	相談支援機能強化事業	事業の実施	未実施	検討	検討	実施	実施		実施	96	37		